

東京支部・事業報告

支部長 飯塚裕人

事業概要

2013年度は、9回の交流会を開催しました（フォーラム2回、交流会2回、講演会2回、家族交流会2回、レクレーション1回）。

26thフォーラムでは、gid.jp創立10周年、および特例法成立10周年を記念した大規模なフォーラムを開催し、10年間の振り返りを行いました。

28thフォーラムでは、「卵子・精子の凍結保存」をテーマに掲げ、こうした生殖補助医療問題にフォーカスした日本で初めての会となりました。

年間催事日程報告

月日	内容	参加人数
2月24日	講演会・支部総会	37
4月20日	講演会	32
5月19日	家族交流会	6組
7月14日	26thフォーラム	135
8月31日	筑波山登山	10
9月28日	28thフォーラム	28
10月27日	交流会	20
11月10日	家族交流会	4組
12月21日	クリスマス会	24
合計		286

各催事詳細報告

日時	2013年2月24日（日） 13:00～16:00
形式	講演会・支部総会
テーマ	性同一性障害 3.11を超えて
会場	南部労政会館 第6会議室 東京都品川区大崎1-11-1 ゲートシティ大崎 ウェストタワー2F
講演	谷合規子さん ノンフィクション作家
参加人数	会員32名 一般5名
概要	元埼玉県新座市議会議員であり、ノンフィクション作家の谷合規子さんをお招きし、谷合さんが性同一性障害の問題をどうとらえ、感じてこられたのか、外から見た私達はどのような存在なのか、お話し頂きました。 

日時	2013年4月20日（土） 13:00～17:00
形式	講演会
テーマ	カミングアウト
会場	南部労政会館 第6会議室 東京都品川区大崎1-11-1 ゲートシティ大崎 ウェストタワー2F
参加人数	会員31名 一般1名
ゲスト	西野明樹さん 目白大学大学院心理学研究科
概要	目白大学大学院心理学研究科に在籍し、心理カウンセラーとしても働いている西野明樹さんをお招きし、臨床心理学の観点から、カミングアウトの特徴やそれに伴う当事者の心境の変化について、わかりやすい解説をつけてご紹介頂きました。小グループに別れて話し合う参加型セッション にする事により、意見交換をしやすい交流会となりました。

日時	2013年5月19日（日） 13:00～16:30
形式	家族交流会
テーマ	未成年の当事者のお子様を持つご家族
会場	品川第二区民集会所 東京都品川区南品川5-3-20
参加人数	6組
概要	より共通した悩みを共有、相談して頂きたく、対象を「未成年」の性同一性障害の当事者を持つご家族に限定致しました。他と比べると初めての参加者が多い交流会となりました。

日時	2013年7月14日（日） 13:00～18:00
形式	26th フォーラム
テーマ	性同一性障害のこれまでとこれから
会場	南部労政会館 第6会議室 東京都品川区大崎1-11-1 ゲートシティ大崎 ウェストタワー2F
講演	山内俊雄先生 埼玉医科大学名誉教授 中塚幹也先生 岡山大学大学院保険学研究所教授 難波祐三郎先生 岡山大学病院ジェンダーセンター長 百澤明先生 山梨大学医学部附属病院形成外科准教授 針間克己先生 はりまメンタルクリニック院長 三橋順子先生 都留文科大学・明治大学・東京経済大学・群馬大学医学部 非常勤講師
参加人数	135名

概要

2003年7月10日「性同一性障害者の性別の取扱の特例に関する法律（特例法）」が衆議院議員本会議で成立しました。10年を振り返り、国内の一線で活躍されている著名な医師・研究者の方をお招きし、現状どうなっているのか、これからどうなっていくのか、私たちはどうすれば良いのかを考えました。以下、簡単に概要を記します。

<第一部 性同一性障害の過去・現在・未来>

山内先生から、GID医療が歩んだ道について、日本と外国の比較や、今後解決すべき課題とその方法についてお話し頂きました。

また、性同一性障害の医療が、保険適用されない理由について述べられ、国に有効性や安全性を認めもらうためには、手術様式を標準化して、効果を示すことが必要だにご指摘されました。

中塚先生は、性同一性障害の当事者の若年化に伴い、これから増々学校での対応が求められることをご指摘されました。また、性同一性障害の当事者が家族を持つ事について、生殖医療の問題と絡めながらお話し頂きました。

<第二部 性同一性障害の身体治療の現状と今後>

難波先生より、FTMの陰茎形成とMTFの造陰について、写真を含めながらお話し頂きました。

生殖器の手術では、知覚神経をつなぐ事により、知覚が戻るとのお話をされ、医療の技術に驚かされた参加者も多かったのではないのでしょうか？

手術には合併症の危険が伴いますが、タイで手術した方を岡山大学で受け入れるなど、タイとの連携に積極的な先生に、今後の日本医療の発展を期待したいと思います。

また、日本でSRSを行える病院が少ない事は、皆様ご存知の通りですが、百澤先生から、山梨大学でSRSをスタートするという嬉しいご連絡がありました。

百澤先生のご尽力によって、関係各科の理解を協力を得る体制を整え、いよいよ9月にMTF-SRSが行われるようです。

<第三部 性同一性障害をとりまく状況>

針間先生より、DSM5とICD11から考える今後の性同一性障害についてお話し頂きました。

両者に違いはあるものの、近い将来、脱病理化、非医療化の方向へ進む事は、間違いなさそうのご見解でした。

これまでと大きく異なる点は、男性、女性という二分法ではなくなり、いわゆるXジェンダーも含むようになることだと思います。

このような動きについて、賛否両論あるかと思いますが、我々もしっかりと動向を追って行きたいと思えます。

三橋先生からは、我々当事者に対する、ご指摘・ご意見を頂きました。

生殖器を変えさえすれば、望みの性別で生きられると思うのは幻想だということです。

また、性自認さえしっかりしてれば良いわけではなく、性他認の獲得が不可欠だというお話をされました。「性別変更は、診察室や手術室で起きているんじゃない！現場で起きているんだ！！」

まさに、その通りだと思います。

<第四部 性同一性障害のこれからを考える>

第四部では、講師の皆様によるパネルディスカッションを行いました。

フォーラム終了後、イタリアンレストランに移動して、gid.jp 創立10周年記念パーティーを行いました。

52名の方にご参加頂きました。ありがとうございました。

講師の皆様にもご参加頂き、お酒を交えながら、フォーラムとはまた違った雰囲気、ぎっくばらんに交流して頂いたのではないかと思います。



日時	2013年8月31日（土） 9:00～17:00
形式	レクレーション
テーマ	登山
会場	筑波山 茨城県つくば市
参加人数	10名
概要	登山に初挑戦致しました。みんなで味わう達成感、すがすがしきは格別でした。gid.jp登山部発足です！ 

日時	2013年9月28日（土） 13:00～18:00
形式	フォーラム
テーマ	卵子・精子の凍結保存
会場	南部労政会館 第6会議室 東京都品川区大崎1-11-1 ゲートシティ大崎 ウェストタワー2F
講演	香川則子先生 リプロセルフバンク所長 中塚幹也先生 岡山大学大学院保険学研究科教授 二宮周平先生 立命館大学法学部教授 山崎新先生 弁護士 クラマエ法律事務所
参加人数	会員22名 一般6名
概要	当事者が自分の子供を持つ。そんな夢のような話しが実現します。卵子や精子の凍結保存を手がけている専門家をお招きして技術的なお話しを頂き、また法律の専門家も交えて、性同一性障害と生殖補助医療で生まれた子どもの法的問題について意見交換致しました。 

日時	2013年10月27日（土） 14:00～18:00
形式	交流会
テーマ	震災とセクシャリティ
会場	南部労政会館 第6会議室 東京都品川区大崎1-11-1 ゲートシティ大崎 ウェストタワー2F
出演	島田 暁さん 映像作家 遠藤コウさん 福島在住被災当事者
参加人数	会員16名 一般4名
概要	<p>福島で実際に被災された当事者の遠藤さんにご参加頂き、現状のいわきの状況や震災とセクシュアリティをめぐる問題を、今この時期にもう一度考えました。</p> 

日時	2013年11月10日（日） 13:30～16:00
形式	家族交流会
テーマ	ご家族の理解のために
会場	品川第一区民集会所 東京都品川区北品川3-11-16
参加人数	4組
概要	恒例となった家族交流会。当事者のお子様を持つご両親のお考えも様々でした。意見交換を行い、それぞれのご家庭のお悩みやご苦労を共感する事で、少しでも解決に近づけたらいいなと思います。

日時	2013年12月21日（土） 14:00～18:00
形式	パーティー
テーマ	クリスマス
会場	エル・トレス 東京都品川区東五反田2-9-11
参加人数	24名
概要	<p>二胡のプロ演奏ユニット「アカラ」をご招待。清々しく晴れた土曜日の昼間から、スパークリングワインを片手に生演奏を堪能する。これほどの幸せはありません。</p> 